

正福寺報

令和 2 年正月号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

花びらは散っても

花は散らない

正福寺住職

松原

行樹ぎょうじゆ

平成三十一年一月二十五日。

実家の本堂で、二日と四時間という短い一生を終えた兄の五十回忌法要を執り行いました。

本堂と墓前での読経を終えて、母から当時の状況を聞きました。

亡くなった我が子を抱っこしたとき、こんな小さな体の至る所にメスが入れられたのかと思うと、耐えきれず泣いてしまったこと。

小さな棺に亡骸を入れ、両親の写真と、実家の本尊様である観音様の御影を入れて手紙を書いたようです。

「観音様、この子は右も左もわかりませんから、どうぞ手を引いてやってください。お父さんとお母さんの写真を入れるから、怖がらずに行くんだよ」と。

「花びらは散っても花は散らない」

昔、祖父の法話を聞いていて、どうしても理解できなかつたこの言葉が三十五年たつてわかりました。

私たちがここにいるということはどういうことでしょうか。

先祖代々果てしなく長い血の流れが、生まれては亡くなり、そうして花びらは散っていったけれども、そこに流れている大いなる命は、今ここに花を咲かせて生きているのです。何とも不思議なこの花は、生まれてから一度も枯れたことのない花です。それを誰もが持っている。

ご先祖からいただいたたった一つのお花ですから、水をやり、肥料をあげて、ご先祖が喜ぶ生き方をして大切にしていきませんか。そうやって生きている間に恩返しをしていきませんか。それが生きている者のつとめではないでしょうか。